



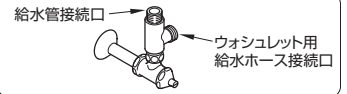
## ウォシュレット® アプリコット Fシリーズ 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

### 新機構情報

●ベースプレート、分岐金具の仕様・形状が従来品から変更となっています。必ず同梱品を取り付けてください。既設のベースプレート、分岐金具は使用できません。

分岐金具取付時のご注意：給水管、給水ホースの接続口を間違えないように取り付けてください。  
※水漏れの原因になります。



### 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

**警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。  
**注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例 してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

#### 警告

浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)	指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)	車輦・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、故障の原因になります。) (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外 は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの 差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)	アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取 り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や 感電の原因になります。)		

#### 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓を はずさない (水が噴き出します。)	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする 原因になります。)	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確 実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)	施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因に なります。)	

### 取り付け前のご注意

- 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
  - 便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因となります。
  - 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はF1・F1A・F2・F2A・F3・F3A・F5・F5A：1282W、F4・F4A：1378Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
  - 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
  - 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
  - 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
  - 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
  - F1A・F2A・F3A・F4A・F5Aタイプの場合…必ず便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレットをセットしてください。※施工のしやすさ、キズ防止のため。
  - 便ふたがロータンクふたや壁などに当たる場合は、当たり音軽減のため同梱のクッションを貼り付けてください。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTO/パーツセンター TEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99へご連絡ください。

#### 給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、④給水ホースの接続の④項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

#### 右給水の隅付タンクへ接続する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りませんので、別売品の中継アダプタ(品番：TCA58)が必要となります。

#### フラッシュバルブへ接続する場合

- ①分岐口のあるFVに接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番：TH343R)が必要となります。
- ②分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番：TH484(FVの給排水芯120mm用)または品番：TH484-1(低圧FV用))が必要となります。
- ③分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品の専用アダプタ(品番：TH347-1S(節水型)または品番：TH502-1S(普通型))が必要となります。

#### 止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

別売品の分岐金具(品番：TCA158)が必要となります。

#### 給水コンセントへ接続する場合

別売品のアダプタ(品番：TH778R)が必要となります。

### 部品の確認

<b>1</b> ウォシュレット本体	<b>2</b> リモコン部品 ※フラットリモコンまたはスティックリモコンのいずれかが同梱されています。 サウンドリモコンはF5・F5Aのみ同梱されています。
<b>3</b> 分岐金具 パッキン 2枚(1枚予備)	フラットリモコン サウンドリモコン F5・F5Aのみ スティックリモコン リモコン リモコンハンガー 乾電池(単3形×4個) ※スティックリモコンの場合は2個(単3形×3個)のみ使用します。(1個は予備) アンカープラグ(3本) ねじ(3本)
<b>4</b> ベースプレート一式 ※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。	<b>5</b> 印刷物組品 延長保証チラシ 施工説明書 印刷物組品、施工説明書、延長保証チラシ
<b>6</b> クッション 取付説明書付 1個	<b>7</b> フレグランスセット (F4・F4A・F5・F5Aのみ) ※フレグランスセットは箱のままお客様にお渡しください。
ボルト固定板 ゴムパッキン	フレグランスオイルシート(8枚) トレー(1個) 取付説明書
<b>便器洗浄ユニット</b> (F1A・F2A・F3A・F4A・F5Aのみ) 箱の中に便器洗浄ユニットの部品が入っています。	

### 各部の名称

【図はF4・F4A】

# 取付方法

## 1 分岐金具の接続

記載の接続方法は代表例です。現地の配管に合わせて接続してください。  
※分岐金具は必ず同梱のものを使用してください。

**1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす**

②上下の袋ナットをゆるめる  
③給水管を取りはずす  
①止水栓をいっばいに閉める

給水管 ※さびている古い給水管は、お取り替えをおすすめします。  
既設の分岐金具がある場合は取りはずす

**3 給水管の止水栓側を切断する**

分岐金具 給水管 パイプカッター  
10~15mm  
不要部分  
※差込部分10~15mmを必ず確保する

●給水管の切断はパイプカッターを使用してください。  
●切断後は切粉を取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合  
給水管 袋ナット テーパリング パッキンガイド パッキン 差込代 約10~15mm 分岐金具 止水栓

接続部にテーパリングを使用していない場合  
給水管 袋ナット スリップワッシャー 差込代 約10~15mm 分岐金具 止水栓

●部品の順番、向きを間違えないでください。

給水ホースがタンクの下側から出ているタイプの場合

**1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす**

①止水栓をいっばいに閉める  
②分岐金具の袋ナットをゆるめて取りはずす

**2 分岐金具を止水栓に取り付ける**

※既設の分岐金具を取りはずし、必ず同梱の新しい分岐金具を取り付けてください。

止水栓  
分岐金具  
バックシン (既設の止水栓のものをはずして付け替える)  
①分岐金具の袋ナットを締め付ける  
②ロータンク用フレキホースの袋ナットを締め付ける

**2 分岐金具を止水栓に取り付ける**

※既設の分岐金具を取りはずし、必ず同梱の新しい分岐金具を取り付けてください。

分岐金具 分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける  
バックシン (既設の止水栓のものをはずして付け替える)  
止水栓

**4 給水管を取り付ける**

バックシン (既設のものをはずして付け替える)  
②分岐金具側の袋ナットを締め付ける  
①ロータンク (ボールタップ) 側の袋ナットを締め付ける  
給水管接続口 (図はフィルター・消音ブッシュ付の場合)  
ウォシュレット用給水ホース接続口

**注意**  
・ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。  
・ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因となります。

ボールタップ本体  
袋ナット ロータンク

## ワンピース便器へ接続する場合

**1 止水栓を閉める**

**2 ふさぎナットとバックシンを取りはずす**

●既設の分岐金具がある場合は、取りはずしてください。

バックシン  
ふさぎナット  
既設分岐金具  
便器  
止水栓  
バックシン (既設の止水栓のものをはずして付け替える)

**3 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとバックシンを取り付ける**

バックシン (既設の止水栓のものをはずして付け替える)  
止水栓  
分岐金具  
ふさぎナット  
便器

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合 ※別売品の分岐金具 (品番:TCA158) が必要になります。

**1 止水栓を閉める**

**2 既設止水栓の部品を取りはずす**

**3 分岐金具 (別売品) を止水栓に取り付ける**

①スピンドルを分岐金具から引っ張ってはずし、止水栓の奥までねじ込む  
②スピンドルに分岐金具 (バックシン付) を通して取り付ける

③分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける  
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

④分岐金具を取り付けた後、止水栓は必ず締め込む

取付完成図

## 2 ベースプレートの取り付けかた

**注意** すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。  
※旧型のベースプレートでは、ウォシュレットが作動しません。

**1 便器のサイズを調べる**

便器取付穴の中心 約47cm → 大型サイズの便器  
便器取付穴の中心から便器先端までの長さをメジャーで測定する  
約44cm → 普通サイズの便器

**2 ウォシュレットのサイズを確認する**

●外装箱に記載している製品品番を確認してください。

製品品番:  
TCF\*\*\*1型の場合→大型サイズ便座  
TCF\*\*\*0型の場合→普通サイズ便座

### 3 ボルトの取付位置を決める

●右の表で取り付け位置を確認してください。  
※ボルトをゆるめ、固定板をつまんでから位置をずらし、ゴムブッシュを軽く締めてください。

便器のサイズ	便座のサイズ	ボルトの取付位置
大型サイズ	大型サイズ	4-Aへ
普通サイズ	普通サイズ	4-Bへ
普通サイズ	大型サイズ	4-Bへ

### ボルトの取付位置

**4-A の場合**  
図の位置に合わせる  
ボルト

**4-B の場合**  
一番前側に合わせる  
ボルト  
一番後ろ側に合わせる  
ボルト

旧公用便器の場合  
一番後ろ側に合わせる  
ボルト

**確認!**  
右記の寸法内に納まるように調整してください。

**POINT!**  
固定板の凸とベースプレートの凹が、かみあっていることを確認してください。  
突起が下側になります

### 4 ベースプレートをセットする

**注意** ベースプレート部品を分解しないでください。

ベースプレート  
ゴムブッシュ  
便器取付穴  
ボルト

FRONTと表示している方を手前にする  
ゴムブッシュを便器取付穴に差し込む (左右2カ所)  
●ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

### 5 ベースプレートを仮固定する

ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締めてください。

### 6 ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

➤ 取付方法 ③ ウォシュレット本体の取り付けかた

### 7 きちんと取りつくことを確認したあと、ウォシュレット本体を一度取りはずす

➤ 取付方法 ③ ウォシュレット本体の取り付けかた

ウォシュレット本体の取りはずしかた

### 確認!

- ウォシュレット本体がタンクにあたっていませんか。
- 便座の先端が便器のふちより前に出ていませんか。
- 便ふたを開いたときに、便ふたが倒れてきませんか。  
➔もう一度ベースプレートの位置を調整してください。
- ウォシュレット本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。(これはワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるものです。)

### 8 ベースプレートを固定する

ドライバーでボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける (かぶり回ります。)  
ベースプレート  
ボルト  
バックシン  
便器  
ベースプレートが便器にあたるまで締め付ける



### 3 ウォシュレット本体の取り付けかた

ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む



取り付け後は、ウォシュレット本体を軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

**注意** 正しく取り付けなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートを設定し直してください。

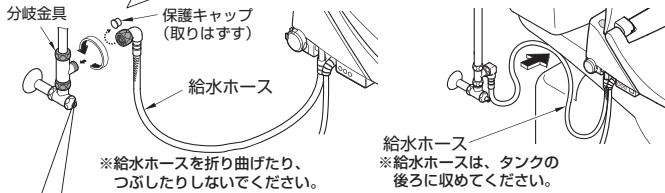
#### ウォシュレット本体の取りはずしかた

●ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。



### 4 給水ホースの接続

#### 1 分岐金具に給水ホースの袋ナットを締め付ける



※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

※給水ホースは、タンクの後ろに収めてください。

#### 2 給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは約950mmです。)

お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーセンター TEL 0120-8282-55 FAX 0120-8272-99へご連絡ください。

給水ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
1180	TCA162	¥2,700 (税込¥2,835)
1480	TCA163	¥3,000 (税込¥3,150)
1980	TCA164	¥3,500 (税込¥3,675)

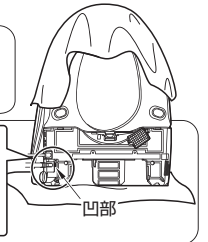
●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

### 長さ違いの給水ホースを取り付ける

#### 給水ホースの取りはずし

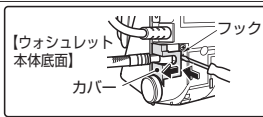
##### 1 ウォシュレット本体を取りはずす

取りはずしたウォシュレット本体を右図のように置く  
●傷がつかないように布などを置いてください。

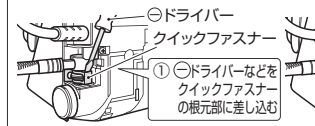


##### 2 カバーを取りはずす

●ウォシュレット本体底面の凹部に○ドライバーを押し込み、左側へずらしてください。

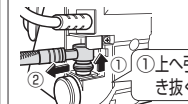


##### 3 クイックファスナーをはすす



②矢印の向きに引く

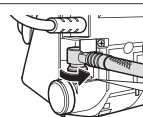
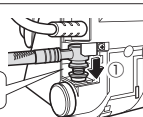
##### 4 給水ホースを取りはずす



#### 給水ホースの取り付け

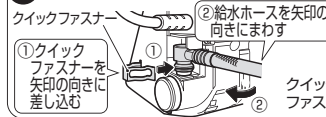
##### 1 給水ホースを取りつける

①下へ押し込む



給水ホースを矢印の向きにまわす

##### 2 クイックファスナーを取り付ける



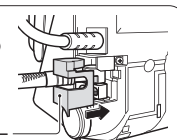
クイックファスナーが正しく取り付いているか確認する



ここにすき間がある場合は、奥まで差し込んでください。

##### 3 カバーを取り付ける

カバー



##### 4 ウォシュレット本体を取り付ける

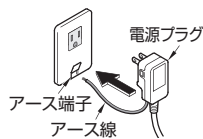
### 5 電源プラグ(アース線)の接続と確認

**注意** (F3-F3A-F4-F4A-F5-F5Aのみ)

- 電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物に当たると次から便ふたが途中で止まる場合があります。(3回続けて開いた位置を記憶します。) 障害物を取り除いた状態で電源プラグを一度取りはずす。約5秒後にもう一度差し込み、リモコンの「便ふた開スイッチ」を押してください。
- 電源プラグを入れて(または電源プラグの「入(リセット)」ボタンを押して)約10〜60秒間は準備運転を行うため、その間、便ふたは「オート開しません」。
- 検知した状態になると脱臭を始めます。

#### 1 アース線をコンセントのアース端子に接続する

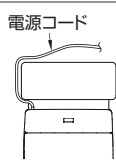
**注意** コンセントに差し込む際、電源プラグにアース線をはさみ込まないよう注意してください。ショートの原因になります。



#### 2 電源プラグをコンセントに差し込む

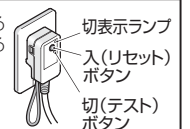
**CHECK!**  
F1-F1Aの場合:ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。  
F2-F2A-F3-F3A-F4-F4A-F5-F5Aの場合:温風吹出口カバーが開閉した後、ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

※コンセントが電源コードの反対側にある場合は、タンクの裏側から電源コードを通すことをおすすめします。



#### 3 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して正常に作動することを確認する

**CHECK!**  
「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する  
「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する以上のように作動すれば正常です。  
「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。  
テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。



#### 4 運転ランプが点灯していることを確認する

運転ランプが点滅している場合  
●ウォシュレット本体がきちんと取り付いていません。  
→ウォシュレット本体を一度ははずしてから、もう一度ベースプレートにセットし直してください。 ➡ 取付方法 ③ ウォシュレット本体の取り付けかた

●ベースプレートがきちんと取り付いているか確認してください。  
→固定板の向きはあっていますか? ➡ 取付方法 ② ベースプレートの取り付けかた ③

#### 運転ランプが消灯している場合

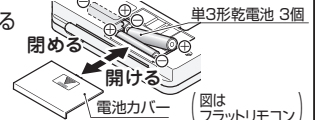
●ウォシュレット本体操作部の「運転入/切」スイッチを押してください。

### 6 リモコンの取り付け

※F5-F5Aは、サウンドリモコンのハンガー部にリモコンを取り付けますので、リモコンハンガーは不要になります。

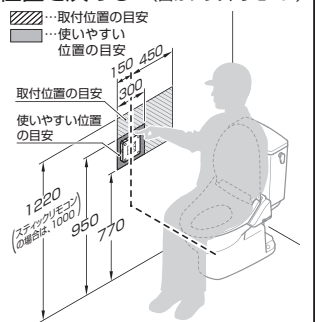
#### 1 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる

- ※⊕⊖の間違えないでください。
- ※同梱の乾電池を使用してください。
- ※スティックリモコンの場合は電池を2個のみ使用します。(1個は予備)



#### 2 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める (図はフラットリモコン)

※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。



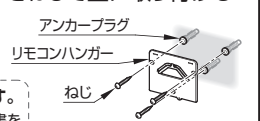
#### 【作動の確認】

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、右図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

※サウンドリモコン (F5・F5Aのみ) の場合、左側に約20mmの空間を確保してください。(電池交換のため)

#### 3 リモコンハンガー(またはサウンドリモコン)をねじで壁に取り付ける

- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

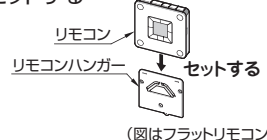


スティックリモコンには盗難防止用の部品が同梱されています。

- リモコンを固定する場合に使用してください。取付方法は同梱の説明書をご覧ください。(必ずお客様の要望を聞いてから、作業してください。)

(図はフラットリモコン)

#### 4 リモコンをリモコンハンガー(またはサウンドリモコン)にセットする

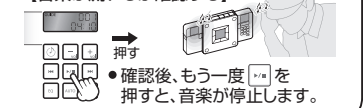


(図はフラットリモコン)

#### 5 サウンドリモコン(F5・F5Aのみ)

- 乾電池の⊕⊖を確認して正しく入れてください。

#### 【音楽が流れるか確認する】



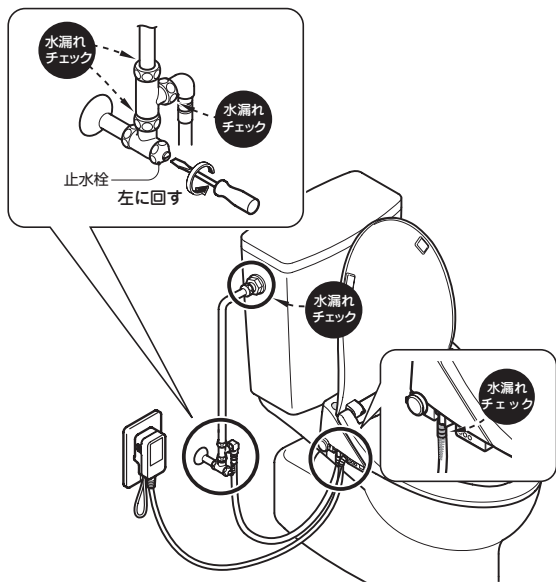
●確認後、もう一度「」を押すと、音楽が停止します。

# 試 運 転

- 試運転が完了したら「運転 入/切」スイッチが、「入」になっていることを確認してください。（「入」のときは、「運転」ランプが点灯します。）
- 「運転 入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでウォシュレットは作動しません。
- ※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転 入/切」スイッチを切らないでください。

## 1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する。
- 止水栓を開いて、配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ウォシュレット本体の給水接続部から水漏れがないか確認する。
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い水漏れを止めてください。



## 2 機能の確認

- 白紙と紙コップなどを準備してください。

● CHECK! (F1A-F2A-F3A-F4A-F5Aのみ)

- リモコンの設定を行いましたか？
- 便器洗浄プラグを取り付けましたか？
- ➔ 上記の2つを行わないとオート便器洗浄が作動しません。詳しくは便器洗浄ユニットの施工説明書をご覧ください。

### 1 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。検知した状態になるとやわらかライトの光が明るくなります。(F3-F3A-F4-F4A-F5-F5Aのみ)
- またノズル付近から数秒間水が出ます。(便座を閉めないと着座センサーははたらきません。)



### 2 洗浄機能を確認する

- ①「おしり洗浄」「やわらか洗浄」「ビデ洗浄」「ワイドビデ洗浄」スイッチを押す ➔ ノズルから適温の温水が出ますか？
- ②「水勢調節」スイッチのプラス・マイナスを押す ➔ 水勢が変化しますか？
- ③「止」スイッチを押す ➔ 温水が止まりますか？



### 3 オート便器洗浄機能を確認する (F1A-F2A-F3A-F4A-F5Aのみ)

- ①着座センサーをおおっていた白紙をははず ➔ 約5秒後に自動で便器洗浄しますか？
- ②男子小便時オート便器洗浄の確認 (F3A-F4A-F5Aのみ): ①の確認から、約1分後に便座・便ふたを開けた状態で便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れる ➔ 約3秒後に自動で便器洗浄しますか？

### 4 オート開機能を確認する (F3-F3A-F4-F4A-F5-F5Aのみ)

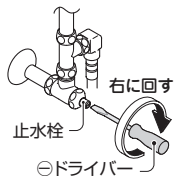
- 便ふたが開まり約10秒後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか？
- ※便ふたが自動で開かない場合は体を動かしてみてください。

## 給水フィルター付水抜栓の掃除

- 試運転後は必ず給水フィルター付水抜栓を掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

### 1 止水栓を閉めて給水を止める

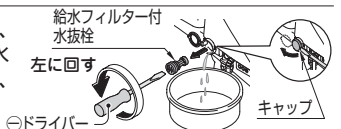
- ロータンクの水を流してください。
- 「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸ばさせてください。(給水管内の圧抜きです。)



#### ⚠ 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない ● 水が噴き出します。

### 2 キャップを開けて、給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす



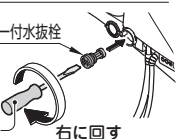
### 3 フィルターを水洗いする

- ※ 小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
- ※ ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



### 4 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締める

- ※ ノズルが戻っている場合は、もう一度「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸ばさせてください。



#### ⚠ 注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)

### 5 「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを戻す

### 6 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認し、キャップを閉める

## 凍結のおそれがあるときの処置

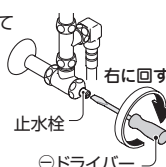
- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。(電源プラグは差し込んだままにしてください。)

### 1 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。

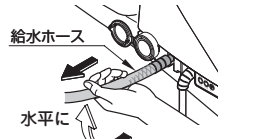
#### POINT!

ロータンクの水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。



### 2 配管の水を抜く

- ① リモコンの「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸ばさせる (配管内の残水を抜く準備です。)
- ② キャップを開けて給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす ➔ 給水フィルター付水抜栓の掃除 2
- ③ 給水ホースを持ち上げてホース内の水を抜く (約30ml)



### 3 ウォシュレット本体を取りはずす

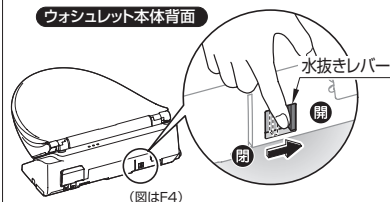
- ➔ 取付方法 ③ ウォシュレット本体の取り付けかた ウォシュレット本体の取りはずしかた

- 取りはずしたウォシュレット本体は便器上面の前方に置いてください。

### 4 ウォシュレット本体内の水を抜く

- ① 水抜きレバーを「開」位置に押し続ける
- ウォシュレット本体のノズル付近から水(約40ml)が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約15秒かかります。
- ② 手を離し、水抜きレバーを「閉」の位置に戻す
- 水抜きレバーを押している途中でノズルが自動で出てきます。ノズルの穴から少量の水が出て、約30秒後に自動で戻ります。 ※ウォシュレット本体のノズル付近および、ノズルの穴から出る水が便器内に落ちるようにしてください。

#### ウォシュレット本体背面



(図はF4)

### 5 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締めてキャップを閉める

- ※ ノズルが戻っている場合は、もう一度「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸ばさせてください。
- ➔ 給水フィルター付水抜栓の掃除 4

### 6 「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを戻す

### 7 ウォシュレット本体を取り付ける

- ➔ 取付方法 ③ ウォシュレット本体の取り付けかた

## 工事店様へ

- スティックリモコン用の盗難防止用部品を使用しない場合は、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- ウォシュレットを左右または対面方向に2台以上ならべて設置するときは、隣のリモコン信号を受け付けて作動することを防ぐため、リモコンの連立対応を行ってください。詳しくは、連立対応について (URL) <http://buhin.toto.co.jp/>「施工方法」の欄「ウォシュレット施工方法(リモコン連立対応など)」をご覧ください。
- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。